

自然公園等工事特記仕様書（自然公園編）

I 工事概要

1. 工 事 名：令和5年度皇居外苑鍛冶屋橋及び馬場先地区植栽帯整備工事
2. 工事場所：東京都千代田区皇居外苑1-1
3. 工 期：令和6年3月22日（金）まで
4. 工事内容：高木植栽工 一式、張芝工 一式、根株除去工 一式、
発生材処分工 一式、

II 適用

1. 本特記仕様書は、「自然公園等工事共通仕様書（自然公園編）」（以下「共通仕様書」という。）でいう特記仕様書で、本工事に適用する。
2. 本工事の施工に係る一般事項は、共通仕様書による。
3. 追加事項が必要な場合には、空欄部分に記載する。
4. 以下の項目は、該当する□欄に「レ」の付いたものを適用する。

III 適用基準等

- (1) 土木工事共通仕様書（国土交通省）
- (2) 土木工事施工管理基準（国土交通省）
- (3) 写真管理基準（案）（国土交通省）
- (4) 工事完成図書電子納品等要領（国土交通省）
- (5) 自然公園等工事施工管理基準（環境省）

IV 特記事項

1. 地域事項の概要

- (1) 自然公園法による地域地種区分 一公園一地域（地区）
- (2) 自然公園法による車馬の乗り入れ規制区域
- (3) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律による鳥獣保護区、特別保護区域
- (4) 文化財保護法による史跡名称天然記念物
埋蔵文化財包蔵地 江戸城跡
- (5) 森林法による保安林
- (6) 海岸法による海岸保全区域
- (7) 砂防法による砂防指定地
- (8) 河川法による河川区域及び河川保全区域

2. 一般共通事項

- (1) 工事完成図のサイズは (A1、 A3、) とする。
- (2) 工事完成図は CAD で作成し、CAD データの提出は (必要、 不要) とする。
- (3) 工事写真は、(A4 版、 版) の工事写真帳に整理して 1 部提出する提出することとし、写真はカラーでサービスサイズ程度とする。なお、監督職員と協議のうえ電子納品のみとする場合は、この限りではない。
- (4) 「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(グリーン購入法) に基づく、環境物品等の調達の推進に関する基本方針 (以下「基本方針」という。)(環境省ホームページに掲載 (毎年 2 月改正)) において位置づけられた、「特定調達品目」の調達の実績 (設備及び公共工事) について、当該年度の調達実績集計表 (物品・役務及び公共工事) を環境省ホームページからダウンロードのうえ、E x c e l ファイルで作成し、提出する。
- (5) 「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、国立公園等施設への木材利用量について、木材利用実績調査要領により、E x c e l ファイルで作成し、提出する。

3. 施工条件

(1) 工事全般関係

- ①各種積算の取組： ②積算補正：DID (1) - 3
- ③調査対象工事： ④余裕工期の設定：

(2) 工程関係

- ①影響を受ける他の工事
- ②自然的・社会的条件による制約
 - a. 要因：一般車両の通行 b. 制約内容：一般交通の妨げとならないよう、鍛冶屋橋上において、道路上からの施工は行わず、工事に必要な資材及び機材を植栽帯内へ搬入し、植栽帯内で施工すること。
- ③関連機関との協議による制約
 - a. 関連機関：丸の内警察署 b. 制約内容：道路使用許可
- ④占用物件 (地下物件、架空線など)・埋蔵文化財等の事前調査・移設
 - a. 物件内容：電線、ハンドホール及び照明 (街灯及びフットライト) b. 物件管理者：環境省、警視庁 (ハンドホール)
- ⑤特殊工法に伴う設計工程上の作業不能日数

(3) 用地関係

- ①用地の取得未了
- ②保安林解除や用地規制等
- ③官民境界の未確定部分

④用地の借地及び官有地等の使用

(4) 環境対策関係

①自然環境及び景観等保全のための制約

②公害防止のための制限

③水替、流入防止施設

④濁水、湧水等の特別処理

⑤事業損失懸念

(5) 安全対策関係

①交通安全施設等の指定

②交通誘導警備員の配置

a. 対象要因：一般通行車両 b. 対象箇所：鍛冶屋橋植栽帯

c. 対象期間：資機材の搬入及び搬出時 d. その他：丸の内警察署の指示に従うこと。

③対策をとる必要がある他施設との近接工事

④防護施設等

⑤保安設備及び保安要員の配置

⑥発破作業等の制限

⑦有害ガス及び酸素欠乏等の対策

⑧高所作業の対策

⑨砂防工事の安全確保対策

(6) 工事用道路関係

①一般道路の搬入路使用

a. 経路：特例都道 406 皇居前鍛冶橋線（植生帯横） b. 制限内容：時間的制約。工事資材及び機材の搬入は、原則として平日の夜間（21:00～6:00）とすること。ただし、監督職員及び丸之内警察署の承認を得た場合はこの限りではない。

c. 占用する際の関係機関協議：道路使用許可。施工計画について、着工前に丸の内警察署担当官へ説明し、道路使用許可を受けること。 d. その他：工事概要については丸の内警察署担当官へ共有済み。

②仮道路の設置

③工事用道路の使用制限

(7) 仮設備関係

①他の工事に引き継ぐ場合

②引き継いで使用する場合

③構造及び施工方法の指定

a 対象物：植栽帯 b. 存置期間：当該工事期間

c. 規模・企画・数量等：— d. 施工方法：植栽帯内において、重機走行による締固めを緩和するため、敷き鉄板もしくはコンパネ等により養生すること。もしくは、低設置

圧型のホイール型車両を使用すること。

- e. その他：スタンプカッター使用時において、切りくずや小石が飛散して利用者等に当たらないよう、飛散防止ネット等を用いて対応すること。また、公園利用者が立ち入らないよう、必要に応じてカラーコーンやバリケード等で囲うこと。

④設計条件の指定

⑤除雪

(8) 建設副産物関係

①建設副産物情報交換システムの活用

監督職員への報告は、当該システムで作成した再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）により行うものとする。

②建設発生土情報交換システム登録対象

受注者は、発注者が当該システムに登録した情報について、発注後情報の更新を行うものとする。

③再生資材の活用の明示

④建設リサイクル法対象工事

- a. 本工事は、特定建設資材を用いた建設物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という）施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

b. 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法		
工程	作業内容	分別解体等の方法
仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業、 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
土工	仮設工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業、 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
基礎	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業、 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
本体構造	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業、 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
本体付属品	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業、 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
その他（ ）	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業、 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

c. 特定建設資材廃棄物の搬出

再資源化等をする施設の名称及び所在地		
特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート塊		
アスファルト・コンクリート塊		

建設発生木材	三立建設(株) 足立リサイクル ステーション	東京都足立区小台1丁目25 番11号
--------	------------------------------	-----------------------

d. 受注者は、特定建設資材の分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第 18 条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

- ⑤建設発生土の受入地への搬出
- ⑥建設発生土の他工事への搬出
- ⑦他工事からの建設発生土利用
- ⑧土壌汚染対策法の届出

(9) 工事支障物件関係

- ①占用物件等の工事支障物件

(10) 薬液注入関係

- ①薬液注入

(11) イメージアップ経費

- ①率計上内容

- ②積上計上内容：

(12) その他

- ①工事用資機材の保管及び仮置き（製作工事及び他工事との工程調整等）
- ②工事現場発生品
- ③支給品・貸与品
- ④新技術・新工法・特許工法の指定
- ⑤指定部分の引き渡し
- ⑥部分使用
- ⑦給水

- ⑧現場事務所・現場休憩所等（テントを含む）の設置

可 設置条件：公園利用者及び公園管理者、交番職員等の妨げとならないこと。設置場所は監督職員と協議のうえ決定すること。

不可 想定休憩場所等：

- ⑨監督職員事務所の設置

- ⑩工事用水及び工事用電力の構内既存設備

a. 工事用水：利用できる（有償、無償（濠水））、利用できない

b. 工事中電力： 利用できる（ 有償、 無償）、 利用できない

①資材置場や作業場等

- a. 場所： 監督職員との協議による。 b. 期間： 現場着工時から工事完了時まで。
c. 制限内容： 資機材置場を設ける場合は、仮囲いフェンスで囲い、ゲートには鍵をかけること。植栽帯内に機材を仮置きする場合は、コンパネ等により地面を養生するとともに、転倒等の危険がないよう安全に注意すること。 d. その他

4. 土工

- (1) 土砂のダンプトラック運搬に関しては、必ずシート掛けを行う。
 (2) 土砂を仮置きする場合は、降雨等により周辺の植生帯に流失し、植物に影響を及ぼすことのないように、シート掛け等の適切な対策を講じる。
 (3) 植生保護及び土壌の固結防止を図るため、以下に場所においては重機等の出入りは避ける。
(図示： 、)
 (4) 土工における運搬および敷均し等については、含水比の高い状態で作業を行ってはならない。
 (5) 搬入する土砂は、地域生態系保全の観点から、以下の条件のものとする。
(条件：)

5. 無筋・鉄筋コンクリート

- (1) 鉄筋の種類は下記による。

- (2) 鉄筋の継手方法は以下のものとする。
 ①重ね継手： 部位 ()、径 ()
 ②ガス圧接： 部位 ()、径 ()
 ③ : 部位 ()、径 ()
 (3) 鉄筋圧接完了後の試験は以下のものとする。
(超音波試験、 引張試験)
 (4) 鉄筋コンクリートの設計強度は下記による。

設計基準強度 F_c (N/mm ²)	スランプ	適用箇所

- (5) 無筋コンクリートの設計強度は下記による。

設計基準強度 F_c (N/mm ²)	スランプ	適用箇所

- (6) セメントの種類は下記による。

種類	適用箇所

- (7) コンクリートミキサーの清掃により生じる汚濁水は、公園区域外に搬出し適正に処理する。

6. 材料

- (1) 以下の工事材料は、見本又は品質を証明する資料について、工事材料を使用するまでに監督職員に提出し、確認を受ける。
- (JIS マーク表示品以外全て、)
- (2) 植栽材料については、納入前後どちらかで材料検査をする。また、監督職員の指示があった場合は、納入樹木の根巻きを一部取り外す等により根の状況を確認し、承諾を得ること。
- (3) 樹木の形状寸法は最小限度を示し、工事完成時点のものを言うが、その許容上限は監督職員と協議のうえ決定する。
- (4) 木材の加圧保存処理は、JIS A 9002「木質材料の加圧式保存処理方法」に準拠すること。また、使用薬剤等については以下のとおりとする。
- ①薬剤指定：有（ ）、無（条件： ）
- ②性能区分： JAS： 、 AQ：
- (5) 木材のインサイジング加工は、製材の日本農林規格による。また、インサイジング機は、一般社団法人全国木材検査・研究協会において認定された機種を使用する。
- (6) 木材の加圧処理材を現場において切断等の加工を行う場合は、加工した部分に表面処理用木材保存剤（(公)日本木材保存協会(JWPA)認定薬剤）で野外での使用が可能な薬品）を塗布する。
- (7) 木材の仕上げは、図面に記載のない限り、角材はプレーナー仕上げ及び丸太は円柱仕上げを標準とする。
- (8) 木材の端部及び角部は図面に記載のない限り面取りを施すこととし、面取り幅等については監督職員と協議する。
- (9) 木材の背割り加工は、材の厚みの（ 1/2、 ）とする。
- (10) 工事現場搬入時における木材の含水率を指定する場合は、同一試験試料から採取した試験片の含水率の平均値が以下の数値以下とする。
- （人工乾燥処理： %、天然乾燥処理： %）

7. 工事共通

(1) 構造物撤去工

- ① 舗装切断作業により生じる汚濁水は、吸引により回収のうえ、公園区域外に搬出し適正に処理する。

(2) 仮設工

- ① 交通誘導警備員を配置する場合、各公安委員会が必要と認める路線・区間及び設計図書に記載のあった場合は、規制箇所毎に交通誘導警備検定合格者（1級又は2級）1名以上配置するものとする。また、請負者は、交通誘導警備検定合格証の写しを監督職員に提出するものとする。

(3) 運搬工

- ① ヘリコプター運搬については、着手前に「ヘリコプターによる輸送業務の安全管理要領（自然環境整備担当参事官通知、平成 22 年 10 月 8 日）に基づき、輸送計画書（飛行計画及び安全管理計画等）を監督職員へ提出すること。
- ② ヘリコプター運搬の想定条件は、以下のものとする。

8. 基盤整備

- (1) 石積工の練積において、目地モルタルの施工は深目地とする。

9. 植栽

- (1) 植栽後に、防寒・対乾燥養生等が必要となった場合は、監督職員と協議する。
- (2) 植栽木に使用する支柱は地下支柱とする。
- (3) 張芝
- ・張芝部の客土（床土・目土）は、以下の条件のものとする。
 - ① 床土：黒土 ②目土：黒土
 - ・床土の厚さは以下のとおりとする。
 - ① 鍛冶屋橋植栽帯：30cm ②根株除去跡：15cm
 - ・使用する芝は高麗芝とし、張芝はべた張り、目土厚 2.7 cmとする。
 - ・張芝は周縁と同じ高さになるよう調整し、転圧後目土を施す。
 - ・必要に応じて養生柵を設置し、適宜灌水を実施するほか、鳥などによる食害を防ぐためにテグスを張る等の対策をする。
 - ・施工後枯死しないように養生するものとし、工事完了引き渡しまでに芝生が枯死した場合、工事監督職員に通知し、再施工するものとする。
- (4) 枯保証

植栽樹木等が工事完成引渡し後 1 年以内に植栽した時の状態で枯死又は形姿不良（枯枝が樹冠部のおおむね 2/3 以上となった場合、又は通直な主幹をもつ樹木については樹高のおおむね 1/3 以上の主幹が枯れた場合をいい、確実に同様な状態になると想定されるものを含む）となった場合には、請負者は当初植栽した樹木等と同等又はそれ以上の規格のものに植替えるものとし、樹木等の枯死又は形姿不良の判定は、発注者と請負者とが立会いのうえ行うものとする。ただし、暴風、豪雨、洪水、地震、地すべり、落盤、火災、騒乱、暴動等の天災などにより流失、折損、倒木した場合にはこの限りではない。

10. 施設整備

- (1) 石材・平板・レンガ・タイル等を材料とする以下の舗装については、設計図に基づいて割り付け図を作成し（伸縮目地を含む）、監督職員の承諾を得る。
 - ①舗装種類：
- (2) 以下の舗装については、試験施工を行い監督職員の承諾を得なければならない。
 - ①舗装種類：
- (3) コンクリート構造物の端部及び角部は、図面に記載のない限り面取りを施すこととし、面取り幅等については監督職員と協議する。
- (4) 施設の設置にあたり、詳細位置等について監督職員の立ち会いにより決定するものは、以下のとおりとする。
 - ①施設種類：

11. その他

- (1) 都道 406 号皇居前鍛冶橋線には、皇居側の植栽帯にクロマツが生育している。本工事における植栽木は、これらのクロマツと一体感をもつ形状とすること。また、皇居外苑・史跡（江戸城跡）の入口に植栽するものとして相応しい形状とすること。
- (2) 植栽するクロマツについては、監督職員と調整のうえ、植栽本数や配置を確定させること。
- (3) 鍛冶屋橋植栽帯のレイアウト図やイメージ写真を作成し、監督職員の了解を得ること。
- (4) 植栽木（クロマツ）は、監督職員とともに現地にて候補木を確認し、選定すること。
- (5) 高木植栽工は1月～3月、張芝施工は2月～3月の間に行うこと。
- (6) 根株の除去はスタンプカッターによる工法を想定しており、切削深は地表から15cm程度とする。
- (7) 根株除去跡は埋戻し、周辺に合わせた張芝を行う。
- (8) 鍛冶屋橋植栽帯の養生に使用するコンパネは物価版掲載品（輸入品（無塗装）12×900×1800）を植栽帯半分程度の面積で計上しているが、実績に合わせて変更を想定している。

令和5年度皇居外苑鍛冶屋橋及び馬場先地区植栽帯整備工事



図面一覧	
図番	目次
1	表紙
2	全体計画平面図
3	鍛冶屋橋植栽帯現況図
4	鍛冶屋橋植栽帯整備計画図
5	馬場先植栽帯整備計画図
6	【参考】地下支柱詳細図

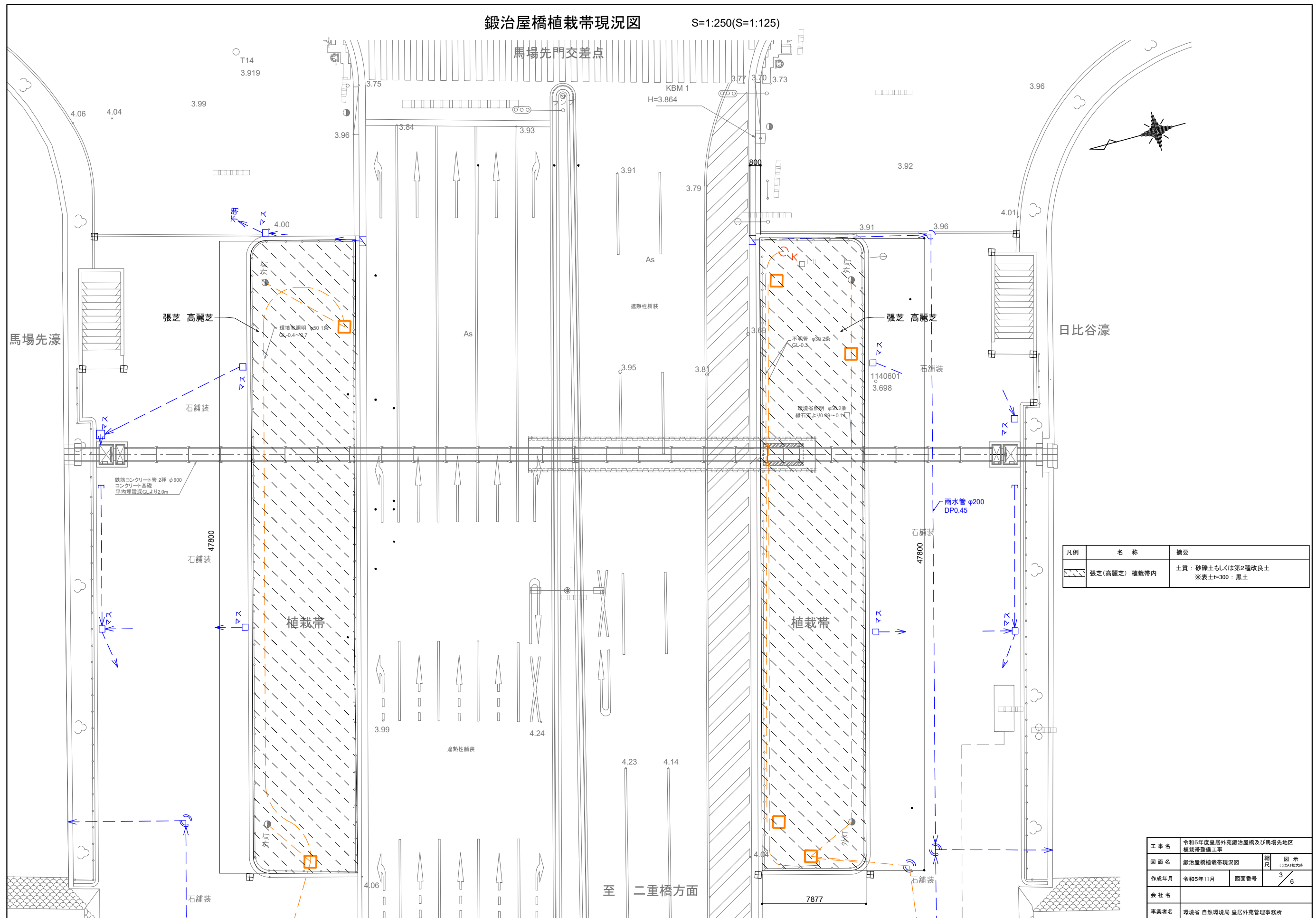
令和5年11月

環境省 自然環境局 皇居外苑管理事務所

工事名	令和5年度皇居外苑鍛冶屋橋及び馬場先地区植栽帯整備工事		
図面名	表紙	縮尺	
作成年月	令和5年11月	図面番号	1 / 6
会社名			
事業者名	環境省 自然環境局 皇居外苑管理事務所		

鍛冶屋橋植栽帯現況図

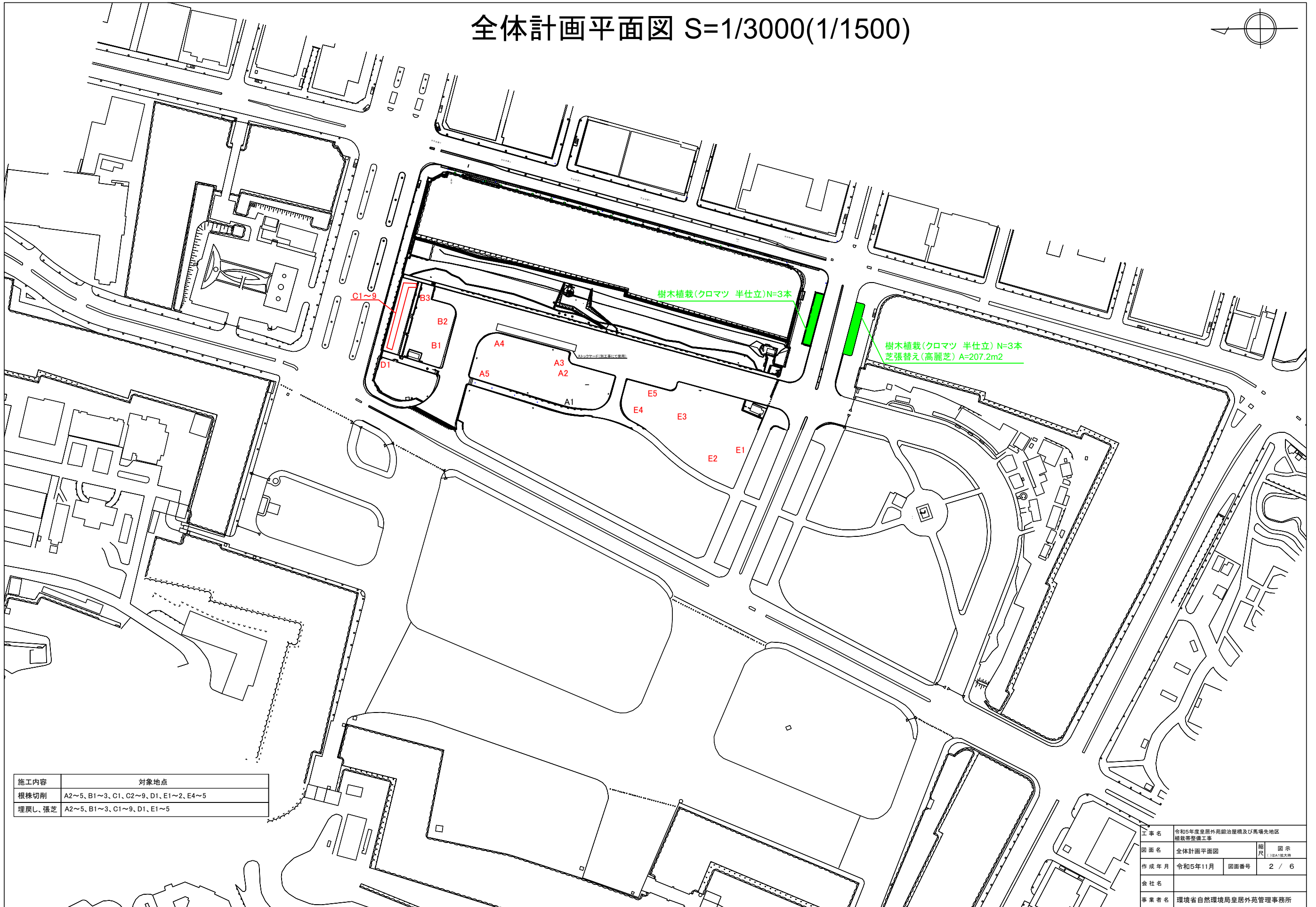
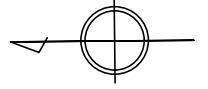
S=1:250(S=1:125)



凡例	名称	摘要
	張芝(高麗芝) 植栽帯内	土質：砂礫土もしくは第2種改良土 ※表土t=300：黒土

工事名	令和5年度皇居外苑鍛冶屋橋及び馬場先地区 植栽帯整備工事		
図面名	鍛冶屋橋植栽帯現況図	縮尺	図示 (1/25A)1/25A
作成年月	令和5年11月	図面番号	3 / 6
会社名			
事業者名	環境省 自然環境局 皇居外苑管理事務所		

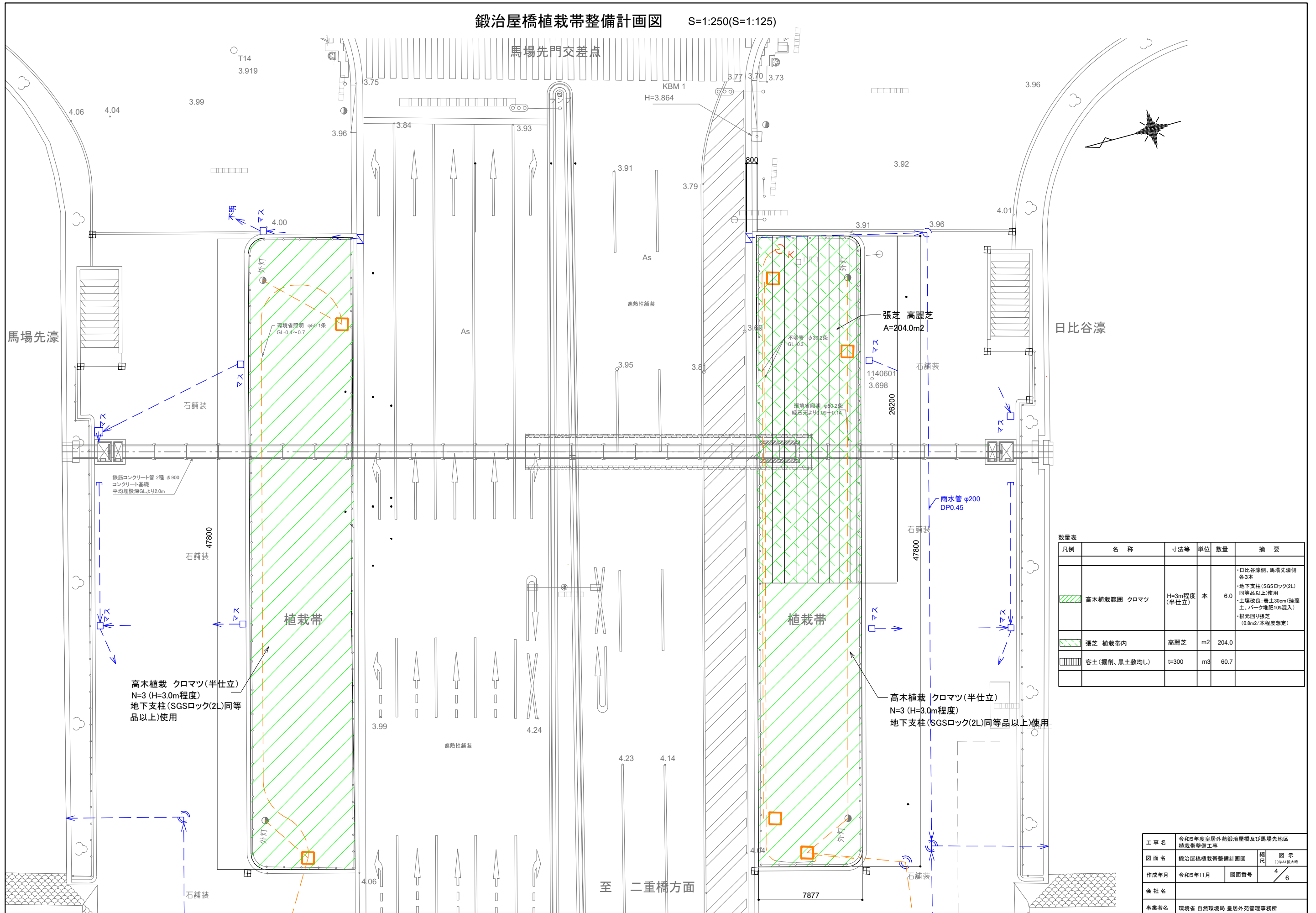
全体計画平面図 S=1/3000(1/1500)



施工内容	対象地点
根株切削	A2~5、B1~3、C1、C2~9、D1、E1~2、E4~5
埋戻し、張芝	A2~5、B1~3、C1~9、D1、E1~5

工事名	令和5年度皇居外苑緑地管理及び馬場先地区 植栽帯整備工事		
図面名	全体計画平面図	縮尺	図示 1:1500
作成年月	令和5年11月	図面番号	2 / 6
会社名			
事業者名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所		

鍛冶屋橋植栽帯整備計画図 S=1:250(S=1:125)

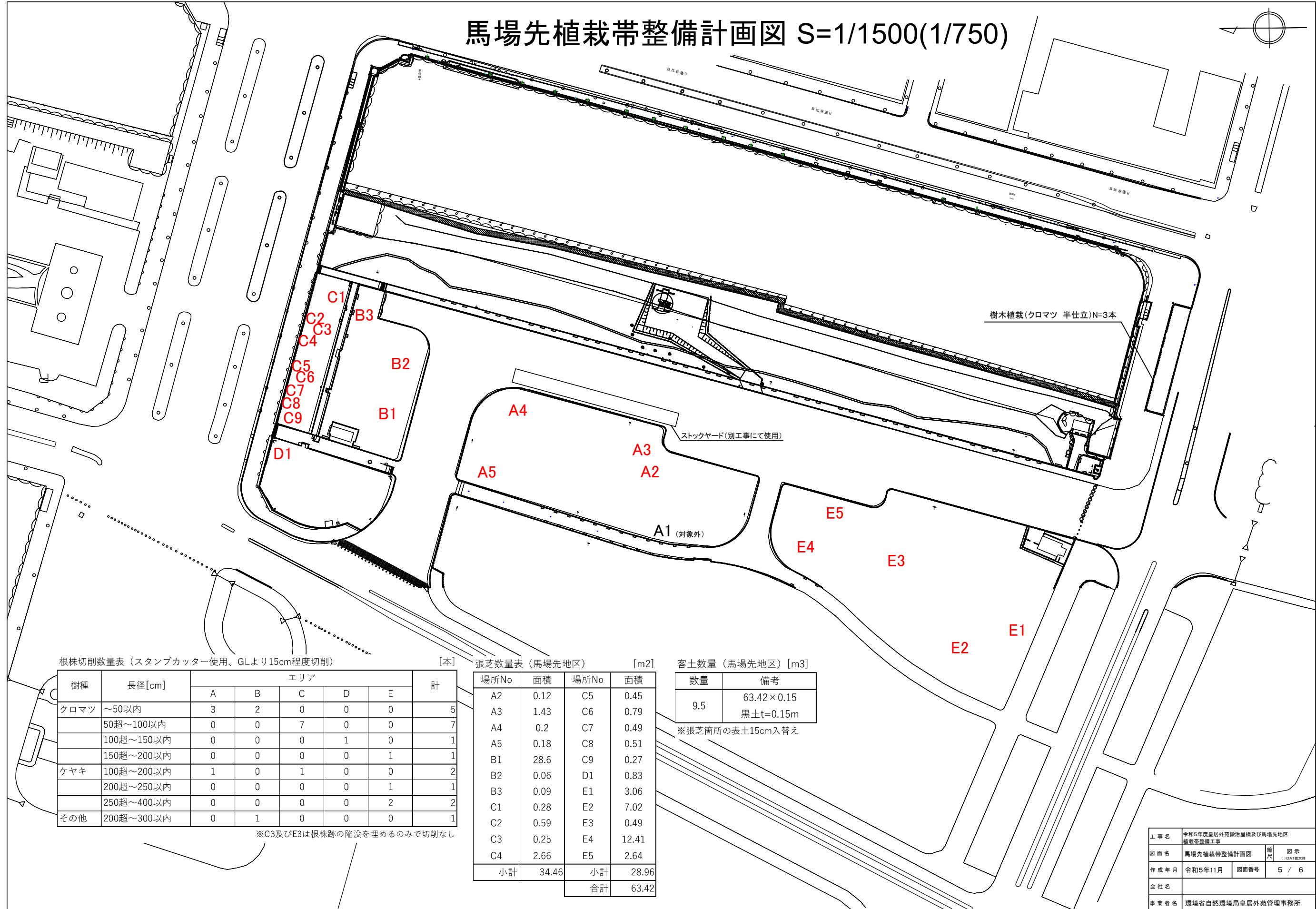
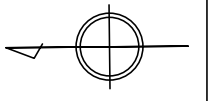


数量表

凡例	名称	寸法等	単位	数量	摘要
	高木植栽範囲 クロマツ	H=3m程度 (半仕立)	本	6.0	日比谷濠側、馬場先濠側 各3本 地下支柱(SGSロック(2L) 同等品以上)使用 土壌改良(表土30cm(透葉 土、パーワ堆肥10%混入) -横元回り張芝 (0.8m ² /本程度想定)
	張芝 植栽帯内	高麗芝	m ²	204.0	
	客土(掘削、黒土敷均し)	t=300	m ³	60.7	

工事名	令和5年度皇居外苑鍛冶屋橋及び馬場先地区 植栽帯整備工事		
図面名	鍛冶屋橋植栽帯整備計画図	縮尺	図示 (1/250)
作成年月	令和5年11月	図面番号	4 / 6
会社名			
事業者名	環境省 自然環境局 皇居外苑管理事務所		

馬場先植栽帯整備計画図 S=1/1500(1/750)



樹木植栽(クロマツ 半仕立)N=3本

ストックヤード(別工事にて使用)

根株切削数量表 (スタンプカッター使用、GLより15cm程度切削) [本]

樹種	長径[cm]	エリア					計
		A	B	C	D	E	
クロマツ	~50以内	3	2	0	0	0	5
	50超~100以内	0	0	7	0	0	7
	100超~150以内	0	0	0	1	0	1
	150超~200以内	0	0	0	0	1	1
ケヤキ	100超~200以内	1	0	1	0	0	2
	200超~250以内	0	0	0	0	1	1
	250超~400以内	0	0	0	0	2	2
その他	200超~300以内	0	1	0	0	0	1

※C3及びE3は根株跡の陥没を埋めるのみで切削なし

張芝数量表 (馬場先地区) [m2]

場所No	面積	場所No	面積
A2	0.12	C5	0.45
A3	1.43	C6	0.79
A4	0.2	C7	0.49
A5	0.18	C8	0.51
B1	28.6	C9	0.27
B2	0.06	D1	0.83
B3	0.09	E1	3.06
C1	0.28	E2	7.02
C2	0.59	E3	0.49
C3	0.25	E4	12.41
C4	2.66	E5	2.64
小計	34.46	小計	28.96
		合計	63.42

客土数量 (馬場先地区) [m3]

数量	備考
9.5	63.42×0.15 黒土t=0.15m

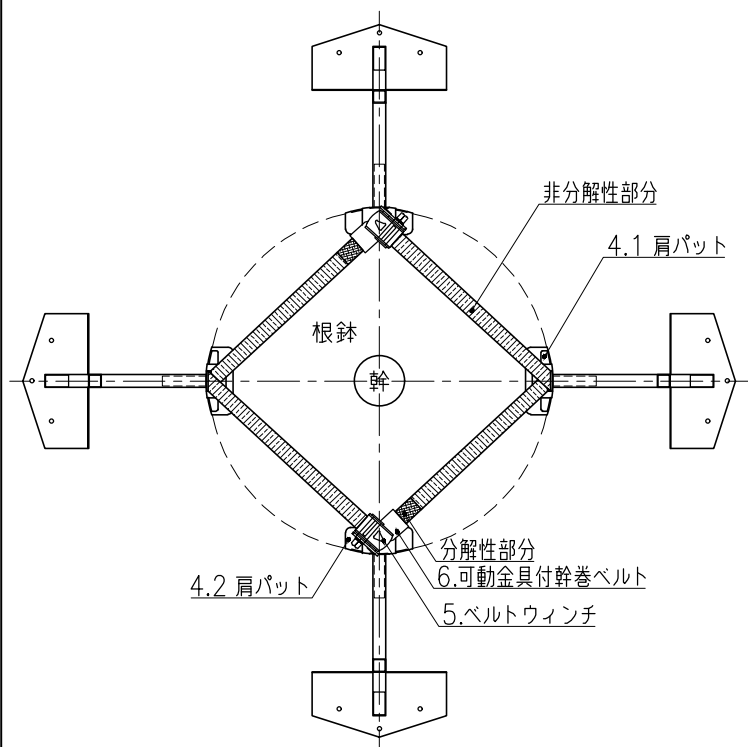
※張芝箇所を表土15cm入替え

工事名	令和5年度皇居外苑緑地整備及び馬場先地区植栽帯整備工事		
図面名	馬場先植栽帯整備計画図	縮尺	図示
作成年月	令和5年11月	図面番号	5 / 6
会社名			
事業者名	環境省自然環境局皇居外苑管理事務所		

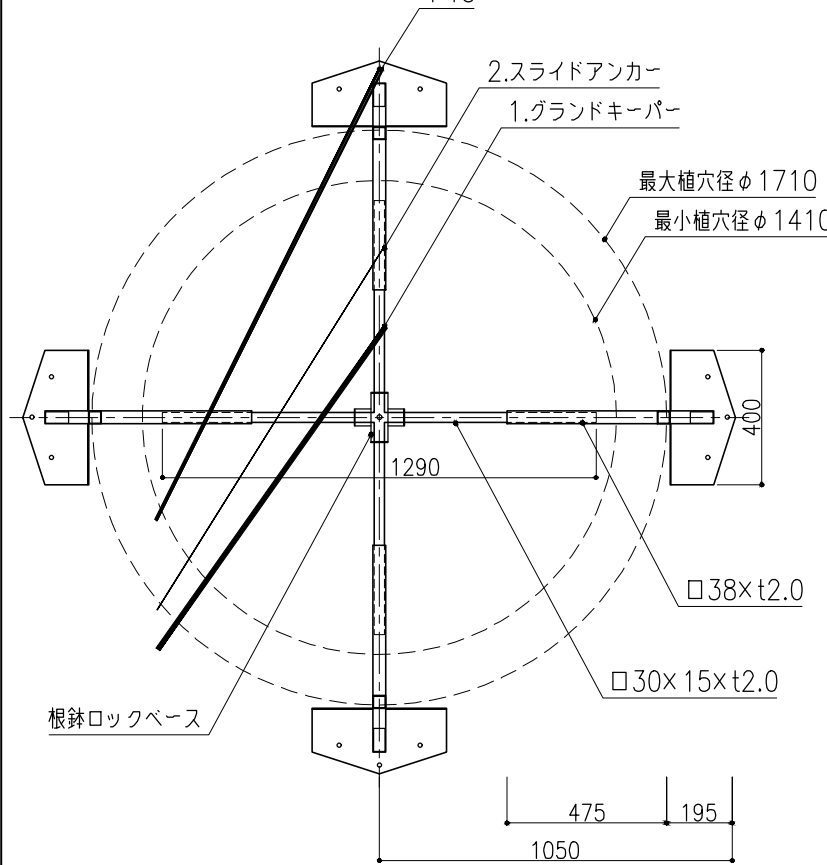
横打ち式根鉢ロック型地下支柱

【参考】地下支柱詳細図

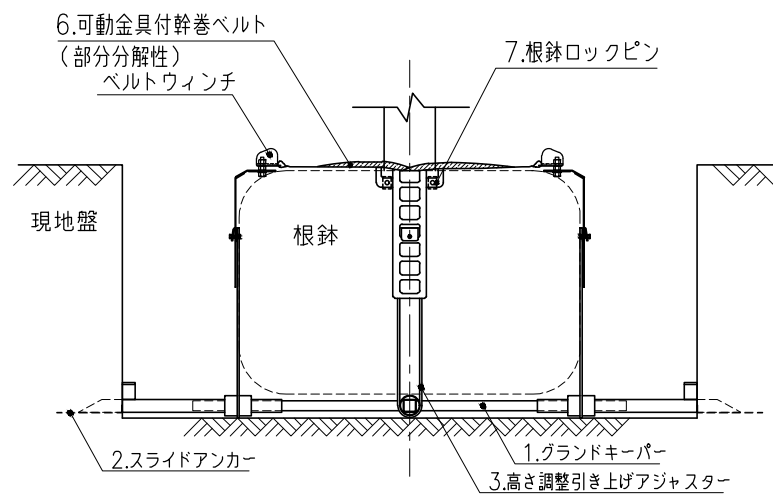
施工平面図 S=1:20



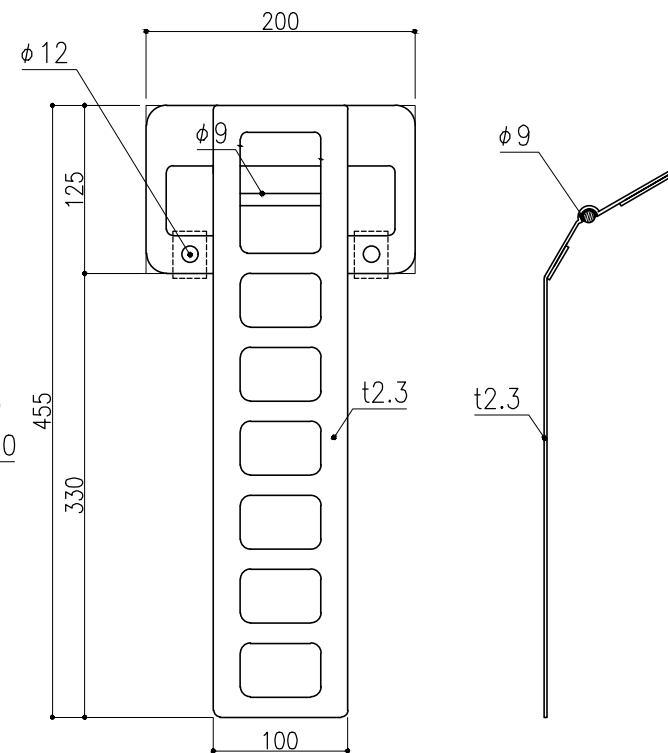
基部対応図 S=1:20



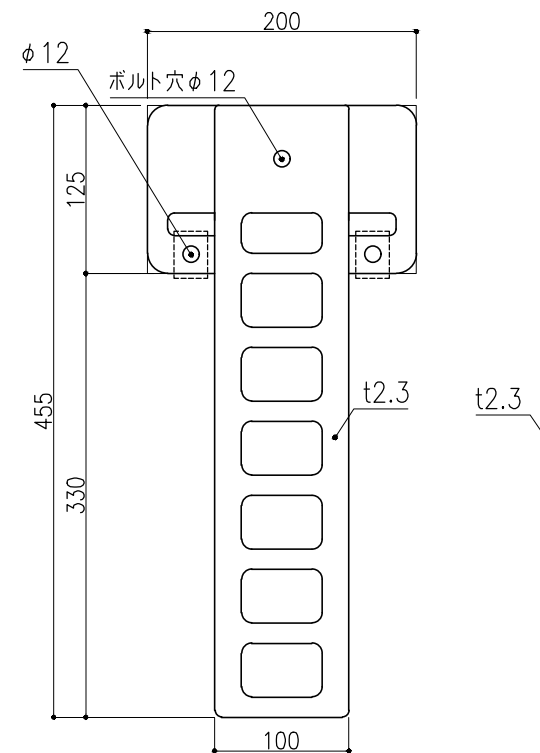
施工断面図 S=1:20



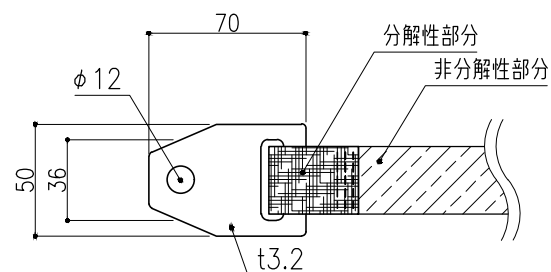
4.1 肩パット<ウィンチなし> S=1:5



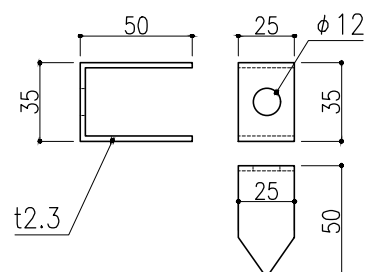
4.2 肩パット<ウィンチあり> S=1:5



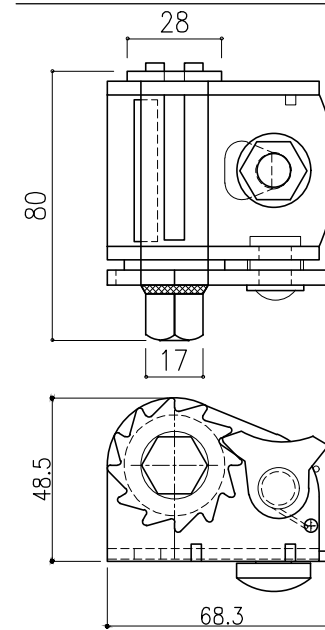
6.可動金具付幹巻ベルト S=1:3



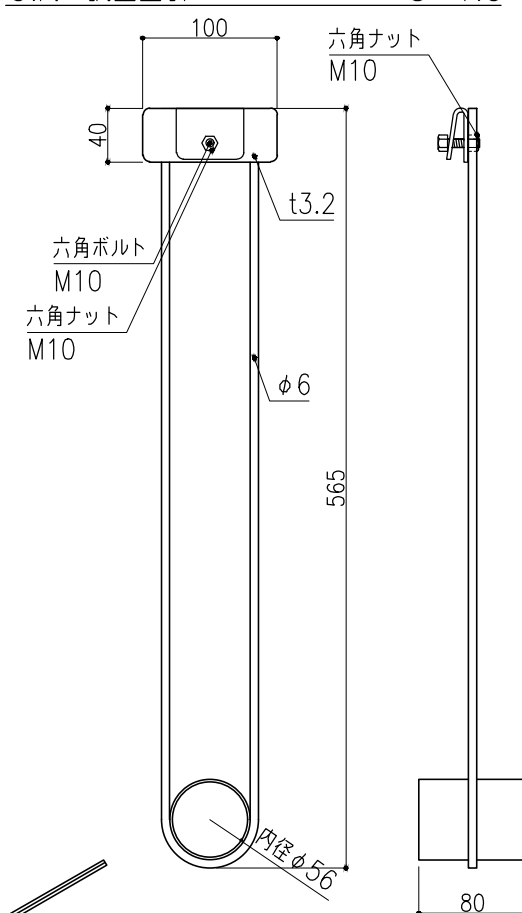
7.根鉢ロックピン S=1:3



5.ベルトウィンチ S=1:2



3.高さ調整型引き上げアジャスター S=1:5



指示なき寸法公差は、“JIS B 0405”規格の公差等級JIS B 0405-vによる。(単位: mm)

フィット・SGSロック		
品名	部品名	数量
1	グラウンドキーパー (根鉢ロックベース付き)	1
2	スライドアンカー	4
3	高さ調整型引き上げアジャスター	4
4.1	ベルト掛け回し用肩パット	2
4.2	ウィンチ取り付け用肩パット	2
5	ベルトウィンチ	2
6	可動金具付幹巻ベルト L=2.0m	2
7	根鉢ロックピン	8
8	根鉢ロックピン用ボルト (M10 L=40mm)	8

型式 2L

対応樹木規格 (国土交通省規格) C=0.35~0.59m H=7.0m程度 φ1410(最小植穴径)

工事名 令和5年度皇居外苑鍛冶屋橋植栽帯及び馬場先地区植栽帯整備工事

図面名 【参考】地下支柱詳細図 縮尺 図示

作成年月 令和5年11月 図面番号 6 / 6

会社名

事業者名 環境省 自然環境局 皇居外苑管理事務所

設計書

工事名

令和5年度皇居外苑鍛冶屋橋及び馬場先地区植栽帯整備工事

工事場所

東京都千代田区皇居外苑1-1

工事概要

高木植栽工事	一式
張芝工事	一式
発生材処分工	一式
仮設工	一式

工事費積算出典調書

工事名	令和5年度皇居外苑鍛冶屋橋及び馬場先地区植栽帯整備工事	
積算基準	自然公園等工事積算基準 土木工事標準積算基準書 造園修景 積算の手引き	
材料費	建設物価 令和5年11月 積算資料 令和5年11月 見積	
労務単価	公共工事設計労務単価	令和5年3月
その他	諸経費工種区分 施工地域・工事場所区分 イメージアップ経費 施工時期、工事期間等による補正 前払金支出割合区分 契約保証区分 週休2日補正 労務単価補正(山岳地等通勤、時間外労働等) その他	公園工事 市街地(DID)(1)－3(共:1.2倍、現:1.1倍) 計上しない 補正なし 40%補正なし(1.00) 金銭保証 一般管理費に含める (0.04%) 補正なし 補正なし

本工事費

頁 1

費目	工種	施工名称	数量	単位	単価	金額	摘要
		基盤整備					
		敷地造成工					
		小規模造成工					
		小規模掘削					
		土砂 標準以外	60.7	m3			施工パッケージ01
		小規模敷均し					
		整地 標準 (10,000m3未満)、障害有り 黒土	60.7	m3			第 0002 号表
		埋戻し					

費目	工種	施工名称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
		埋戻し（人力） 現場制約あり、土砂、締固め無し 黒土	9.5	m3			第 0003 号表
		構造物撤去工					
		伐採工					
		植栽管理工 除根（スタンプカッター） クロマツ、長径～50cm以内	5	本			見積比較表
		植栽管理工 除根（スタンプカッター） クロマツ、長径50cm超～100cm以内	7	本			見積比較表
		植栽管理工 除根（スタンプカッター） クロマツ、長径100cm超～150cm以内	1	本			見積比較表
		植栽管理工 除根（スタンプカッター） クロマツ、長径150cm超～200cm以内	1	本			見積比較表
		植栽管理工 除根（スタンプカッター） ケヤキ、長径100cm超～200cm以内	2	本			見積比較表

費目	工種	施工名称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	植栽管理工	除根 (スタンプカッター) ケヤキ、長径200cm超~250cm以内	1	本			見積比較表
	植栽管理工	除根 (スタンプカッター) ケヤキ、長径250cm超~400cm以内	2	本			見積比較表
	植栽管理工	除根 (スタンプカッター) その他樹種、長径200cm超~300cm以内	1	本			見積比較表
	植栽						
	植栽工						
	高木植栽工						
	高木植栽						
	植栽工 (高木)	幹周45cm以上60cm未満	6	本			地下支柱 (SGSロック同等品以上) 使用 土性改良材の切り混ぜ投入を含む 第 0001-2 号表

費目	工種	施工名称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	クロマツ	幹周45cm以上60cm未満	6	本			半仕立程度、樹高300cm程度 見積比較表
	土性改良 珪藻土		7	袋			20kg/袋 珪藻土、バーク堆肥10%混入 材料単価表
	土性改良 バーク堆肥		6	袋			20kg/袋 珪藻土、バーク堆肥10%混入 材料単価表
	地被類植栽工						
	張芝						
	張芝工 高麗芝、ベタ張、目串あり		270.6	m2			第 0004-2 号表
	産業廃棄物処理工						
	産業廃棄物処理工						

費目	工種	施工名称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
		発生材処分工					
		残土（運搬、処分費） 第2種建設発生土	67.5	m3			第 0006 号表
		木材（運搬、処分費） 根株、切削くず	6.23	t			第 0007 号表
		草本類（運搬費） 4t車	1	回			見積比較表
		草本類（処分費）	20.7	m3			見積比較表
		仮設工（全工種共通）					
		仮設工					
		工事用道路工					

費目	工種	施工名称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	植栽帯養生 コンパネ	(12×900×1,800)	121	枚			鍛冶屋橋植栽帯 材料単価表
	植栽帯養生 コンパネ	(24×910×1820)	40	枚			馬場先地区植栽帯 見積比較表
	交通管理工						
	交通誘導警備員 交通誘導警備員B		8	人日			第 0008 号表
	直接工事費						
	共通仮設費		1	式			
	共通仮設費(率計上)			%			対象処分費≤直工3%以内 DID補正(1.2) 1,000円未満切捨て
	純工事費						

本工事費

費目	工種	施工名称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
現場管理費				%			対象処分費≤直工3%以内 DID補正 (1.1) 1,000円未満切捨て
工事原価							
一般管理费率分				%			対象処分費≤直工3%以内 契約保証 (金銭的保証0.04)
一般管理費(改め)							
工事価格計							
消費税相当額							
工事費			10	%			